インフルエンザ(2026 年第 45 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 45 週の定点当たり報告数は 11.00(患者報告数 41,071)となり、前週の定点当たり報告数 10.26 よりも増加した。都道府県別では北海道(28.32)、福島県(21.08)、青森県(19.79)、岩手県(19.74)、宮城県(18.45)、山形県(18.36)、愛媛県(17.71)、秋田県(16.56)、埼玉県(16.34)、新潟県(15.71)、栃木県(15.19)、長崎県(13.26)の順となった。全国 47 都道府県中、34 都道府県では前週の報告数よりも増加し、13 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 1,115 例であり、前週(918 例)から増加した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(27 例)、1～4 歳(120 例)、5～9 歳(135 例)、10 代(59 例)、20 代(14 例)、30 代(14 例)、40 代(16 例)、50 代(50 例)、60 代(98 例)、70 代(215 例)、80 歳以上(367 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2026 年第 41 週～2026 年第 45 週)では、AH1pdm09 が 205 件(96%)、AH3 亜型が 4 件(2%)、B 型が 4 件(2%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html)を参照されたい。